

星つむぎの村 本の森だより No.27

星つむぎの村は、「星を介して人と人をつなぎ、ともに幸せを作ろう」をミッションに
プラネタリウム、星空観望会、星や宇宙に関するワークショップなどを展開している団体です。

★ぼく・わたしの絵本

「カピバラがやってきた」 アルフレッド・ソデルギット:作
あまのまきこ:訳 岩崎書店



突然現れたカピバラたち。ここで暮らすならルールを守って！と距離を置くニワトリたち。ところがある日、犬に追われたヒナをカピバラたちが助けます。さてさて、ニワトリたちはどうしたかな？

「カエサルくんカレンダー」 いけがみしゅんいち:文
せきぐちよしみ:絵 福音館書店



「今日は〇月〇日」ってどうやって決まっているんでしょう？太陽やお月さまや地球とふかいつながりがあるんですよ。小学生のゆうかちゃんといっしょに小さなおじさんカエサル君のお話を聞いてみましょう！

★ティーンエイジの君へ

「月のサバイバル」 洪在徹:原案 吉田健二:絵
渡辺潤一:監修 朝日新聞出版



「子ども宇宙飛行士」として月に行った3人の子どもたちが繰り広げるハラハラドキドキ冒険ものがたりです。科学マンガサバイバルシリーズ89作目。月の探査や宇宙に関するコラム満載です。

「にげて さがして」 ヨシタケシンスケ:作 ポプラ社



世の中にはいろんな人がいる。わたしだって、その一人。きつとどこかに一緒に笑いあえる人がいる。さがしてみよう。気持ちの置き場所だって自分で動かせる。絵がどんどん想像を膨らませてくれます。

★トピックス...

秋の虫が鳴き始め、ペガサス座が空高く輝く季節となりました。白い羽根を持つ天馬ペガサスの胴体の星の並びは四辺形、四方の安定を司るとされています。勇敢で度胸のあるこの星座、「ロマン」「自由」「飛翔」などのメッセージを私たちに届けてくれているそうです。ペガサス座の四辺形の中は明るい星が少なく、3つ見えたなら、5等星まで見えているという証しです。たとえ、四角い中に星をみつけられなかったとしても闇の向こうにはたくさんの星が輝き私たちを見守ってくれています。遠い宇宙を思い浮かべて素敵な夜をお過ごしください。

次号の発行は来年1月1日です。本の森だよりのバックナンバーは、星つむぎの村のホームページに掲載されています。

★パパ・ママの本

「野尻抱影 星は周る」 野尻抱影:著 平凡社



明治から昭和を生きた英文学者で天文随筆家、星の和名収集家としても有名な野尻抱影の随筆選集。生活の中に星があり抱影の星への尽きない親愛を感じられます。こんな風に星を見上げてみたいものです。

「詩集 星の時 Voice of St.GIGA」 寮美千子:著 ログリン社



衛星から地球へ美しいことばを届ける、というコンセプトで生まれた詩集「星の時」。耳で聞いても心地よい詩にあふれています。太陽のある時間をイメージした詩集「水の時」も合わせて読みたい。

★みんな・みんな生きている！

「おなかのボタン」 平田エミ:作・絵 リーブル出版



栄養をとる胃ろうのボタンをつけてもらった「さっくん」の物語。とても明るい内容でパワーをもらえます。医療的ケアを受けている子どもやご家族、周りのお友達にお勧めです。1歳から大人まで。

「シロナガスクジラ」 加藤秀弘:作 大片忠明:絵 福音館書店



地球史上最大の動物、シロナガスクジラ。赤ちゃんを産むため冷たい海から暖かい海を目指して旅に出ます。母クジラは半年以上何も食べず子どもを敵から守ります。やがて来る別れの時まで全て愛情を注いで。



YouTube
QRコード

星つむぎの村の活動やイベント情報は、ホームページ、Facebook、Instagram、YouTubeなどで発信しています。



編集・発行

一般社団法人 星つむぎの村

〒409-1502

山梨県北杜市大泉町谷戸6587-2

☎0551-88-9027

✉・book@hoshitsumugi.org

HP・https://hoshitsumugi.org/